

平成20年度一般会計予算〔骨格予算〕275億7,500万円

前年度比4.2%減、3年連続の緊縮型予算、基金取り崩しは6億円。

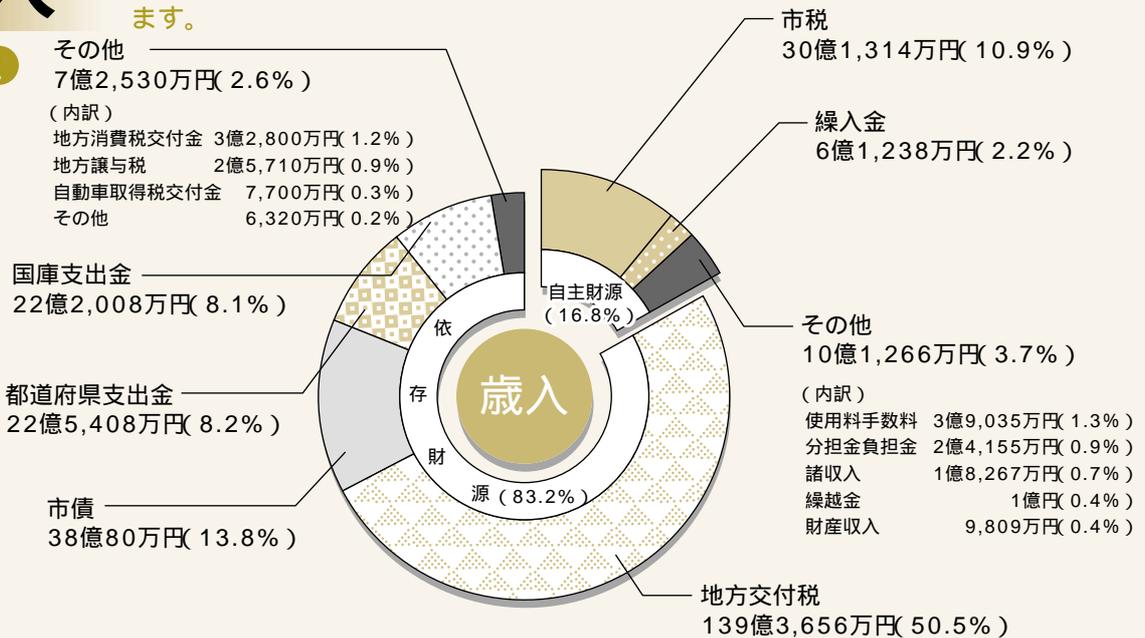
3月の対馬市議会定例会で可決された対馬市の平成20年度当初予算についてお知らせします。
 一般会計当初予算は、前年度比4.2%減の総額275億7,500万円で、3月に市長改選が行われたことから、新規の施策等を見送るなど政策的経費を抑え、義務的経費を中心に編成した骨格予算となっています。
 対馬市の財政は、国の地方交付税総額の減額などの三位一体改革の影響、また過去の建設事業に伴う公債費(借入金返済)負担などにより依然として非常に厳しい状況にあります。

平成20年度の予算規模は、一般会計と11の特別会計を合わせると
 総額386億514万円(対前年比49億1,228万円減、 11.3%)です。

歳入

一般会計の歳入は、自主財源の柱である市税を30億円(対前年度比 7%)と見込んでおり、地方譲与税の減少や、地方税収入の伸び悩みにより、厳しい財政運営が続いています。

歳入内訳

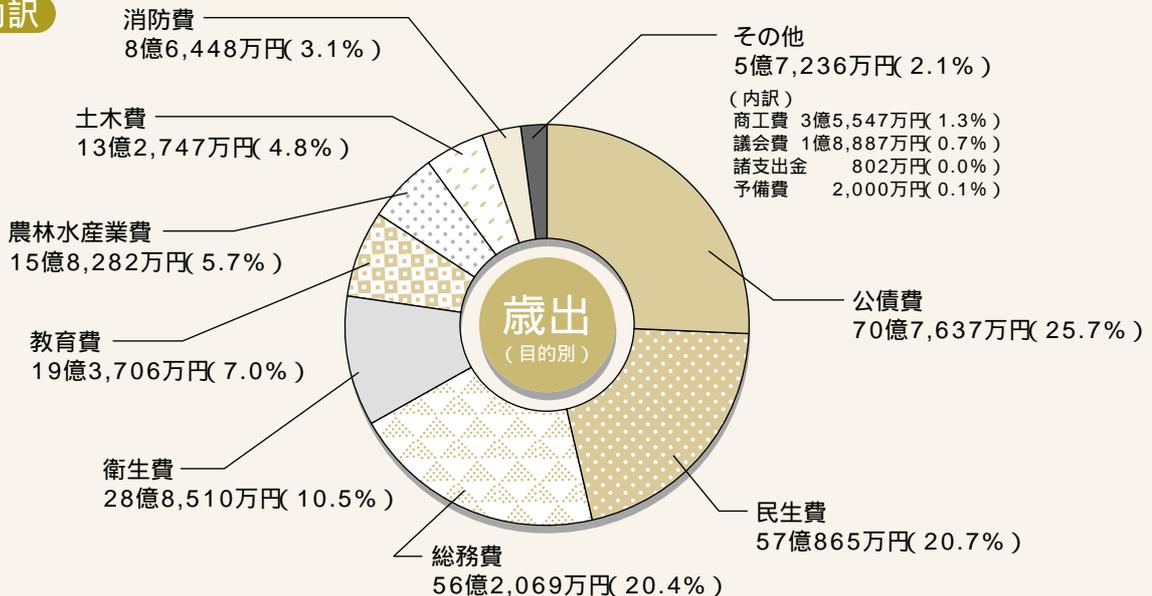


歳出

(目的別)

公債費が最多で70億7,637万円(対前年比 0.2%)、次いで民生費57億865万円(0.3%)、総務費56億2,069万円(5.6%)となっており、衛生費(+2.4%)、商工費(+1.1)以外は前年度より減となっています。

歳出内訳



一般会計の主な使い道

総務費

美津島支所・消防出張所解体事業	7,730万円
CATV 施設整備事業	22 億2,827万円

民生費

児童手当	4 億3,530万円
生活保護費	13 億2,977万円
社会福祉協議会補助	1 億1,840万円
後期高齢者医療広域連合負担金	3 億1,675万円

衛生費

離島医療圏組合病院負担金	6 億8,760万円
ごみ処理関連経費	8 億3,239万円
し尿処理関連経費	2 億8,012万円
合併処理浄化槽設置補助	4,142万円
斎場建設事業	1 億8,900万円

農林水産業費

イノシシ等有害鳥獣対策補助	3,952万円
林道整備費	6,841万円
漁業後継者対策事業補助金	860万円
漁港整備事業	5 億3,323万円

商工費

対馬観光物産協会補助金	1,847万円
観光施設管理等委託	8,974万円

土木費

市道と板糸瀬線改良事業	1 億円
床谷改良住宅整備事業	1 億3,262万円
港湾改修事業(厳原、曾ノ浦港)	1,000万円

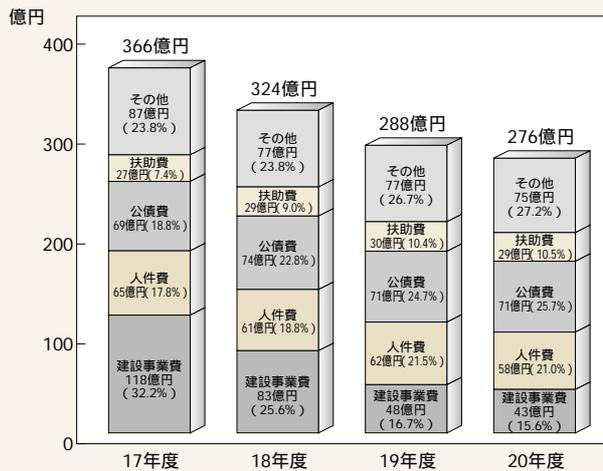
消防費

消火栓設置負担金	1,410万円
消防団運営費補助金	2,861万円

教育費

通学バス運行委託	1 億990万円
文化財保護	2,731万円

歳出予算額(当初)の推移



会計名	予算額	対前年度増減額	対前年度増減率
診療所特別会計	3億2,360万円	1億578万円	48.6
国民健康保険特別会計	51億9,870万円	5億327万円	8.8
老人保健特別会計	3億9,547万円	38億719万円	90.6
後期高齢者医療特別会計	3億6,641万円	3億6,641万円	皆増
介護保険特別会計	28億6,600万円	1億5,603万円	5.2
介護保険地域支援事業特別会計	1億1,385万円	527万円	4.9
特別養護老人ホーム特別会計	4億5,873万円	1,204万円	2.6
簡易水道事業特別会計	12億2,145万円	2億8,224万円	30.1
集落排水処理施設特別会計	2,100万円	213万円	11.3
旅客定期航路事業特別会計	3,133万円	48万円	1.6
風力発電事業特別会計	3,360万円	105万円	3.0
合計	110億3,014万円	37億1,727万円	25.2

企業会計(水道事業)予算

区分	金額
収益的収入	2 億 6,574 万円
収益的支出	2 億 5,198 万円
資本的収入	2,584 万円
資本的支出	2 億 4,480 万円

資本的収入での不足分は当年度損益勘定留保資金などで補って運営します。



特別会計・企業会計予算

特別会計・企業会計とは、独立採算制を原則とすべき事業を行う場合に一般会計と区別している会計です。
本市には次の通り11の特別会計と1の企業会計があります。
老人保健制度から後期高齢者医療制度への移行により、今年度より後期高齢者医療特別会計が新設され、老人保健特別会計が大幅な減となっています。

対馬市の

人事異動

3月31日付退職

【統括監】清水達明、大浦義光、松原敬行

【部長級】齋藤清榮(水道局長)、梅野茂希(上対馬支所長)、武田憲次(上県支所長)、内田洋(美津島支所長)、根ノ憲治(観光商工部理事)、松村善彦(市民生活部理事)、長谷川洋蔵(建設部理事・北部建設事務所担当)、岩佐俊彦(観光商工部補佐官)、日高一夫(教育部長)

【課長級】國分猛志(豊玉支所地域振興課長)、緒方雅文(上対馬支所住民生活課長)、吉野哲(対馬クリーンセンター所長)、船津博也(峰支所佐賀出張所長)、島井利和(峰支所地域振興課主幹)、勝見芳次(美津島地区生涯学習センター所長)、安重孝一(上県地区生涯学習センター所長)、内山宗雄(厳原地区生涯学習センター所長)、辻増男(上対馬北部学校給食共同調理場長)、小田昭人(消防本部総務課長)、波田明(消防本部通信課長)、吉田有慶(消防署空港出張所長)、西山岩夫(対馬クリーン

センター) 北部中継所)、大石敬子(塩浜へき地保育所)、山根静枝(三根保育所)、長郷節子(佐賀保育所)、齋藤實三(水道局水道課・豊玉支所住民生活課) 課長補佐級) 大塔美生恵(特養浅茅の丘) 係長級) 須川真千代、大石博美(北福祉保健センター)

3月31日付

派遣期間満了

長崎県 里中秀明(農林課主幹) 対馬地方局 佐々野直樹(農林課)

4月1日付異動

氏名後の()内は旧所属

【市長部局】

《政策部》【政策企画課】(政策企画班) 主任 西川治臣(ながさき地域政策研究所派遣) 《市民生活部》【税務課】(住民税班) 主事 阿比留大地(長崎県市町振興課派遣)(収納対策室) 主幹 藤田雄一(長崎県税務課・併任) 副参事 兼係長(長崎県税務課派遣) 内山博晴(同室)

《福祉部》【福祉課】(塩浜へき地保育所) 参事 築城直美(仁位へき地保育所)(雑知保育所) 副参事 阿比留智晴(小船越へき地保育所)(仁位へき地保育所) 主任保育士 阿比留実(雑知保育所)

《保健部》【健康推進課】(健康推進班) 保健師 長瀬裕美子(南福祉保健センター)(地域包括支援班) 保健師 廣川久美子(南福祉保健センター) 【南福祉保健センター】(福祉保健班) 栄養士 安藤善子(同部健康推進課)(地域包括支援班) 保健師 中村美里(新規採用) 北福祉保健センター) (福祉保健班) 保健師 阿比留智美、桐合知佐(同部健康推進課)(地域包括支援班) 主任保健師 財部恭子(同部健康推進課) 【保険課】(国保老人保健班) 主事 長崎県後期高齢者医療広域連合派遣) 浦瀬俊美(同課)

《農林水産部》【農林課】 主幹(農林振興班担当) 田嶋幸一(長崎県農林課 併任)(農林振興班) 係長 八島啓介(県林務課派遣)

【教育委員会事務局】 【学校教育課】(指導班) 指導主事 阿比留圭嗣(西部中学校教諭、副愛採用)(厳原幼稚園) 教諭 藤和美(北幼稚園)(豆酸幼稚園) 教諭 一宮美津恵(北幼稚園)(鶏鳴幼稚園) 教諭 立花幸子(豆酸幼稚園)(比田勝幼稚園) 教諭 惣島美登里(鶏鳴幼稚園) 教諭 丸山美津代(美津島北部小学校)(今里小学校) 用務員 中村美津代(厳原小学校)(小網小学校) 用務員 井村美穂子(西部中学校)(西部中学校) 用務員 吉村ひとみ(小網小学校)(仁田中学校) 用務員 島居千幸(豊小学校)

【消防本部】

次長兼総務課長 阿比留健(同次長) 【総務課】 主事 柳田彬博、原田洋三、扇祥喜(平間瞬、梅野聖哉(新規採用) 【予防課】 主幹兼本署予防課主任 井一成(同課) 【通信課】 課長 梯克彦(同課) 主幹兼本署警防課主幹) 【本署】 【警防課】(警防救助班) 参事兼課長補佐 兼本部警防課主任 米田耕喜(同課) (救急班) 課長補佐 昇任 主藤庄司(峰出張所) 副参事兼係長 兼本部警防課主任 昇任

津江正雄(同課)(予防班) 消防司令補 昇任 勝見誠一(同課) 予防課(危険物班) 係長 兼本部予防課主任 奥村茂久(同課)(美津島出張所)(警防班) 参事兼課長補佐 昇任 中山秀尚(同課)(庶務班) 参事兼課長補佐 昇任 小森八州男(同課)(予防班) 消防士長 昇任 齋藤英二(同課)(豊玉出張所)(庶務班) 参事兼課長補佐 昇任 市山豊次(同課)(警防班) 参事兼課長補佐 昇任 國分美智也、大浦佳章(同課)(予防班) 参事兼課長補佐 昇任 多田國利(同課)(峰出張所)(警防班) 参事兼課長補佐 昇任 宮原直之(同課)(予防班) 参事兼課長補佐 昇任 川元吉広、糸瀬一生(同課) 主事 糸瀬皓一(本署予防課)(庶務班) 参事兼課長補佐 昇任 阿比留万作(同課) 主任 松尾吉範(空港出張所)(上県出張所)(予防班) 参事兼課長補佐 昇任 永留弘和(同課)(上対馬出張所)(警防班) 参事兼課長補佐 昇任 英男(峰出張所)(空港出張所) 所長 昇任 齋藤秀文(上対馬出張所)(庶務班) 参事 村瀬整治(本署総務課)